



Noh
OHKURA NOH THEATRE

FUNNABENKHI



撮影：青木信二

3.15 (土)

対談 「観世小次郎信光」
高桑 いづみ × 大槻 文蔵

狂言 文蔵 野村 萬斎

能 船弁慶 観世 喜正
重前後之替
早装束
舟唄

令和六年度
大槻能楽堂
自主公演能

能の魅力を探るシリーズ

大槻文蔵と読み解く能の世界

能作者そして作品

KAKITSUBATA



2.15 (土)

対談 「金春禅竹」
天野 文雄 × 大槻 文蔵

狂言 眞奪 善竹 忠亮

能 杜若 斎藤 信隆
恋之舞

大槻能楽堂

主催：公益財団法人大槻能楽堂

助成：大阪府助成
文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

〒540-0005 大阪市中央区上町A-7
TEL.06-6761-8055
【公式サイト】 noh-kyogen.com

公演パンフレット「おもて」
季刊発行(詞章・あらすじ等を掲載)
1冊:1000円(定価)



令和6年度大槻能楽堂自主公演
能の魅力を探るシリーズ

大槻文蔵と読み解く能の世界

能作者そして作品

第732回 令和7年
2月15日(土) 13:30開場
14:00開演

対談 「金春禅竹」
天野 文雄 × 大槻 文蔵

狂言 眞奪

シテ 太郎冠者 善竹 忠亮
アド 主 善竹 忠重
アド 通りがかった者 善竹 隆司
後見 善竹 隆平

休憩

能 杜若 恋之舞

シテ 杜若の精 齊藤 信隆
ワキ 旅の僧 福王 和幸
笛 齊藤 敦
小鼓 久田舜一郎
大鼓 河村眞之介
太鼓 上田 悟

後見 大槻 文蔵
上野 雄三
生一 知哉

地謡 多久島利之
赤松 禎友
上田 拓司
浦田 保親
寺澤 幸祐
武富 康之
齊藤 信輔
大槻 裕一

(終演予定時刻16時50分頃)

第733回 令和7年
3月15日(土) 13:30開場
14:00開演

対談 「観世小次郎信光」
高桑 いくみ × 大槻 文蔵

狂言 文蔵

シテ 主 野村 萬斎
アド 太郎冠者 野村 裕基
後見 中村 修一

休憩

能 船弁慶 重前後之替 早装束 舟唄

前シテ 静御前 観世 喜正
後シテ 平知盛の怨霊 味方 遥
子方 判官源義経 福王 知登
ワキ 武蔵坊弁慶 中村 宜成
ワキツレ 判官の従者 喜多 雅人
ワキツレ 〃 野村太一郎
アイ 船頭 杉 信太郎
笛 吉阪 一郎
小鼓 山本 寿弥
大鼓 前川 光範
太鼓

後見 大槻 文蔵
赤松 禎友
武富 康之

地謡 上野 雄三
上田 拓司
浦田 保親
味方 團
長山 耕三
齊藤 信輔
大槻 裕一
上野 雄介

(終演予定時刻17時10分頃)

一步踏み込んだ解説講座はいかがでしょう？
月イチ能楽講座 in 大槻能楽堂

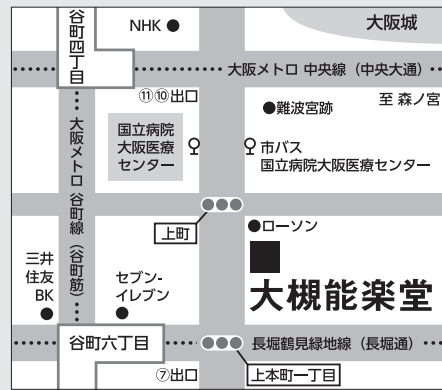


講師 大槻裕一・成田奏 料金 2,000円
講座内容 2/10(月)19時～ 演目「杜若」 申込 上記QRコードを読み取り、
3/12(水)19時～ 演目「船弁慶」 申込フォームをご送信ください。

会場 大槻能楽堂

大阪市中央区上町A番7号

- 大阪メトロ谷町線・中央線「谷町四丁目」駅下車、
⑩号出口を出て南へ約300m。
(⑪号出口にエレベーター有)
または谷町線・長堀鶴見緑地線「谷町六丁目」駅下車、
⑦号出口を出て北へ約350m。
(⑦号出口にエレベーター有)
- 市バス「国立病院大阪医療センター」下車南へすぐ。
※「大阪駅前」から62号系統「住吉車庫前」行き、
「あべの橋」から62号系統「大阪駅前」行き。



令和6年度大槻能楽堂自主公演 音声による上映前の解説(日英)

能一番 100円 能(狂言も含む)二番以上 200円

本日の演目をもっと詳しく分かる、音声による
演目解説(日英)をご用意しました。開演前、
休憩中にぜひご利用ください。

※上演中にご利用いただけません。

狂言《眞奪》

世の中に平和が訪れて、立花を座敷に飾って客
をもてなす会が流行り、主も知人たちを招いて会を
催すことになった。ところが立花の「真」(中心)にふさ
わしい木の枝がない。主は、召し使う太郎冠者を連
れて東山へ採りに行き、通りがかった者が持っている
見事な「真」を見て羨ましくなる。それを察した太郎
冠者が奪いに行く。――

善竹忠亮の演ずる太郎冠者が、従兄の隆司演
ずる通りの者を相手に奮闘する結末や如何に。主
は父の善竹忠重。

能《杜若 恋之舞》

東国へ旅をする僧が三河国の八橋に着くと、沢
一面に今を盛りと杜若の花が咲いていた。ここは、
昔、在原業平が「かきつばた」の歌を詠んだとい
う『伊勢物語』ゆかりの名所であった。しばらく足を留
めて見惚れていると、どこからともなく現れた女が声
をかけてきた。――

杜若の花は別の名を顔佳花(かおよばな)とも言
い、美しい人の面影を宿すという。眩しい初夏の光
の中、唐衣を身に着けて艶やかに舞う女の姿は、業
平かと思えば彼の愛した二条后、歌舞の菩薩と思
えば杜若の精と、面影は幾重にも重なっていく。齊
藤信隆のシテが白日の夢の世界へと誘う。

狂言《文蔵》

召し使う太郎冠者が無断で仕事を休んで出掛け
たうに、帰って来ても仕事に出て来ない。主は家へ出
向いて厳しく叱りつけるが、京都見物をして伯父御の
見舞にも行ったと聞いて、すっかり機嫌を直す。――

伯父御に何をご馳走になったか忘れた太郎冠者
(野村裕基)。それを思い出させようと、野村萬斎演
ずる主が本気で語る「石橋山合戦」が見どころ。聞
きどころだ。落語の「オチ」のような結末が肩の力を
抜いてくれる。

能《船弁慶 重前後之替 早装束 舟唄》

源義経は、平家を滅ぼした栄光から一転して兄・
頼朝との不和とは修復ならず、都を落ちて西国へ逃
れることになった。摂津国大物の船宿で静御前に
別れを告げ、義経主従は船出する。ところが、穏や
かだった海が急に嵐となり、知盛ら平家一門の怨霊
の姿が浮かび上がる。――

前半の静御前の愁嘆と舞、囃子が彩り船頭が活
写する海の様子、後半の怨霊と義経の闘いなど、
能の繊細優美と躍動が凝縮された屈指の人気曲。
観世喜正(東京)が演じ分ける静御前と平知盛はも
ちろん、野村太一郎(東京)の演ずる船頭が装束の
早替えをするのも見どころだ。

文・石淵文恵

入場料金		※友の会：割引特典あり	
席種	前売	当日	
S席	6,500円	7,500円	
A席	6,000円	7,000円	
B席	5,500円	6,500円	
学生(B席)	3,300円	4,300円	
U-25 25歳以下(B席)	席数限定 1,100円	B席 2,100円 立ち見 800円	

公演パンフレット「おもて」や音声演目解説付きチケットも販売中

チケット発売日			※当日券は開演の1時間前より販売		
公演	友の会	一般			
2/15 杜若	12/5	12/16			
3/15 船弁慶	1/6	1/15			

チケットご予約・ご購入

●大槻能楽堂ホームページ(発売日10:00～)

<https://noh-kyogen.com/ticket/>

●大槻能楽堂 事務局(11:00～16:00 不定休)

TEL 06-6761-8055

※駐車場・駐輪場はございません。

※やむを得ぬ事情により、曲目・出演者・日程・終演予定時刻等の変
更改生じる場合がございます。あらかじめご了承くださいませよう、
お願ひ申し上げます。

※本公演における写真撮影及び録音・録画は固くお断りいたします。

※上演中は時計等のアラームや携帯電話の電源をお切りください。

※未就学児のご入場はご遠慮ください。